

北区医療介護サポートセンター キタールさんからのおたより

NO. 11

発行者：北区医療介護サポートセンター

〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字池ノ内4-1箕谷会館2F

Tel:078-583-3299 Fax:078-583-3298

Eメール:kita-zaitaku1-cl@siren.ocn.jp

キタールさん：令和7年度神戸市北区キャラクター使用承認 第5号



JCHO神戸中央病院
病院長 松本 圭吾

★箕谷会館ご案内★

箕谷会館は

1階が

北部休日急病診療所

2階には

北区医師会

北区歯科医師会

北区薬剤師会

が入っています。

北区医療介護サポート
センターは2階です。

アクセス

箕谷インター近く。

スーパーマルハチ箕谷

店南向かいです。

神鉄箕谷駅から徒歩6

分。駐車場あり。



JCHO神戸中央病院

松本 圭吾院長にインタビュー

高齢者救急の現状と課題

昨今の日本医療において高齢者救急が大きな課題となっている背景には、言うまでもなく急速な人口構造の変化があります。先般の日本医療マネジメント学会総会において、厚生労働省事務次官の伊原和人氏が「2040年に向けて、これからの医療を考える」というテーマで特別講演を行われました。その内容を要約すると、

1. 人口構造として、2030年代には75歳以上よりも85歳以上の人口増加率が高くなる。
2. 85歳以上人口の増加に伴い、「おおむね在宅、時々入院」といった医療・介護の複合ニーズが増大する。
3. 医療需要としては、外来はすでに減少局面にあり、入院は多くの地域で2035～2040年にピークを迎える一方、在宅医療は当面増加し続ける。

こうした全国的傾向は、神戸市北区においても例外ではありません。7月31日には、二次救急輪番病院と消防による会議が開かれ、高齢者救急の課題について議論されました。北消防からの報告では、

1. 救急搬送件数は令和2～3年にはコロナ禍で一時減少したが、令和4～6年はコロナ前の約1.2倍で高止まりしている。
2. 搬送患者のうち高齢者の割合は年々増加し、北区では昨年度68.7%、その約4割が85歳以上であった。
3. 搬送患者の約半数が軽症者であった。

これらから、高齢者のみの世帯増加により、症状への不安や病院へのアクセス困難が重なり、軽症でも救急搬送を利用するケースが増えている可能性が示唆されます。さらに、85歳以上では発症前から要介護状態であることが多く、症状が分かりにくい傾向があります。治療で病状が落ち着いても、病前より要介護度が進んだ状態で退院を迎える場合、退院先の確保が難しいことも指摘されました。

こうした課題の改善には、救急車を呼ぶか迷った際に利用できる「#7119」の積極活用や、地域の医療・介護施設間でのリアルタイムな情報共有が重要です。しかし何より大切なのは、日常的に顔の見える関係を築き、信頼を醸成することであり、そのつながりこそが、「何かあった時」に真価を発揮すると考えます。

★活動報告★

北区地域包括ケア推進総括協議会 10周年記念総会

令和7年5月17日（土）、神戸ホテル フルーツ・フラワーにて

「北区地域包括ケア推進総括協議会10周年記念総会」が開催されました。

テーマは「10年の軌跡 未来への一步～医療・介護の新たな挑戦～」。

当日は242名の参加者が集い、地域包括ケアの歩みとこれからの展望について活発な意見交換が行われました。

参加者の皆さまからは、満足度も有益度もほぼ100%の高い評価を頂きました。

今回の総会を通して、特に印象的だったのは、すべての分科会で共通して話題に上がった「多職種連携」というキーワードです。

それぞれの専門職が互いの役割を理解し合い、理想を押し付けるのではなく、「今できること」を共有しながら、少しずつでも前に進んでいく。そんな姿勢が、これからの地域包括ケアを支える大切な土台になることを、改めて感じる機会となりました。

～分科会の様子～



有馬の様子

障害福祉と介護保険の制度連携、多職種による在宅看取り支援の取り組みと課題について意見交換を行いました。



六甲の様子

歯科医によるフレイルチェックと口腔ケア実演の後、多職種による食支援講演を実施。現場の声に触れ、支援の在り方を考える機会となりました。

部屋	分科会 1 部	分科会 2 部
六甲	「お口の元気はからだの元気」 オーラルフレイルチェック体験 介護現場での口腔ケア実演講習 ～ケアグッズの正しい使い方～	高齢者の「食べる」を考える会 多職種のコラボレーションとコロボレーション TRORINPA（トロリンパ）の実機展示 ～介護施設でのとろみづけを解決！～
摩耶	薬局における在宅業務の移り変わり ～この10年～ キタールさん手帳を利用しよう	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム (にも包括)
有馬	シームレスな地域包括ケアを目指して (1)放課後等デイサービス 連携ネットワーク会における 医療・教育・福祉・行政の連携 (2)高齢障害者の介護施設への連携	未来に向かっての思いを 言葉に療養者が望む看取りを目指し 私たちができること
蘭	未来の医療介護テクノロジーの活用推進 ～人材確保・医療介護現場の革新～ 介護施設におけるデジタル機器の展示等	市民講座 北区市民防災シンポジウム 「医療・介護・福祉・行政が連携した 地域包括ケア実践からの災害対策」 ～災害発生後の支援 医療から介護・福祉へ！ 医療・介護・福祉・行政の多職種連携～

★今後の予定★

今後の予定は医療介護サポートセンターのホームページに掲載しています！

ホームページ: <https://kobe-iks.net/area/kita>

ホームページをチェックして、ぜひ研修にご参加ください。

